

保育者による健康観察の流れ

(1) 早朝、iPadで園児の出欠状況・体温をチェックする



今日は**Aちゃん**は熱で休みで、**B君**は4日ぶりに登園するのね。
あれ？**日曜日**の**C君**の体温は37.3°で何時もより若干高めだわ。
今朝の体温は平熱だけど、気を付けて保育しましょう。

※登園前にお子さんの健康状態や体温を把握できることは非常に助かります。

(2) 情報から健康状態を考慮して教育・保育活動に反映する

昨日、**Aくん**は元気だったのに今日は急な熱でお休みなのね。心配だわ…。
一緒に遊んでいた**Y君**は今のところ元気だけど、体調の変化に気をつけま
しょう。

Bくんは4日ぶりに登園するから心身の状況を考慮して保育することが
大切よね。外遊びは何時もより制限して遊ばせましょう。

日曜日の**C君**の体温は37.3°だったけど今朝は36.7°

もしかしたら、熱が上がる可能性があるわよね。お昼頃に体温測定をしま
しょう。



※入力していただいた情報は体調管理の為の重要な情報源となります。

(3) 急な体調の変化にも対応できるようにする



もしもし、担任の〇〇ですが、昼食前にC君の体温を測定したのですが
37.5°ありました。今のところ食欲はあるものの、何時もより元気があり
ません。早めのお迎えをお願いしたいのですが…

「日常的な情報」は「予測」となり、予測は「早期対応」に繋がります。
ご面倒をお掛けしますが、「バステル」にて毎日の検温結果入力にご協力をお
願い致します。

※携帯電話の機種によっては、ログインパスワードを記憶し省略できる設定がありますので、
ご自身の携帯電話の設定をお確かめください。